

2026年4月7日
東洋埠頭株式会社
代表取締役社長 原 匡史

2025年度 東洋埠頭グループの社会貢献活動について
—東洋農園の冬作物が豊作、収穫体験に329人が参加—

東洋埠頭グループは、鹿児島県にある志布志支店におきまして、耕作放棄地などを有効活用した農業活動を継続しております。夏シーズンの稲作に続き、冬はそばとにんじんの栽培に取り組み、2025年度も地域社会への貢献活動を展開いたしました。

2025年12月から2026年3月にかけて、志布志市内の有明保育園、安楽保育園、伊崎田保育園、たちばなこども園・同学童、通山こども園などの8団体から、延べ329人の幼児、子供たち、先生方、さらに就労支援施設の皆さまをお招きし、にんじん収穫体験会を開催いたしました。この活動は2024年に13名が参加する小さな催しとしてスタートしたところ、ご要望を受けて活動の輪が広がり、今では地域における貴重な農業体験や食育の場として定着しつつあります。掘りたてのにんじんは土の香りとともにご家庭にお持ち帰りいただきました。

また、2025年12月に収穫時期を迎えたそばは、前年の強風・大雨による不作から一転、好天に恵まれ108kgと前年比約2倍の豊作となりました。収穫したにんじんとそばは、社会福祉協議会を通じてこども食堂に寄贈いたしました。

東洋埠頭グループは、今後も地域の子どもたちへの農業体験機会の提供と、こども食堂への食材支援を継続し、地域社会への貢献とSDGs活動に取り組んでまいります。

